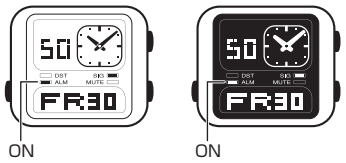
Operation Guide 3794

CASIO

液晶表示について

Aタイプの液晶表示で説明しております。
Bタイプ（反転液晶）をお使いの方は、Aタイプで各インジケーター（マーク）がONのときに点灯するところが白くなると置き換えてご覧ください。

<Aタイプ>　<Bタイプ>



操作音について

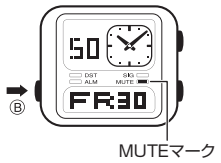
モード切替え時などに鳴る操作音のON／OFFを切り替えることができます。

■操作音のON／OFF設定

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも

Ⓑボタンを約3秒間押します

➡確認音が鳴り、操作音のON／OFFが切り替わります。
※操作音をOFFにしているときは、MUTEマークが点灯します。
※Ⓑボタンを押したときに、モードも切り替わりますので、ご注意ください。
※操作音がOFFでも、アラーム音や時報音は鳴ります。



ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、Ⓒボタンを押すとライトが約1.5秒間点灯し、暗いところでも時刻を見ることができます。



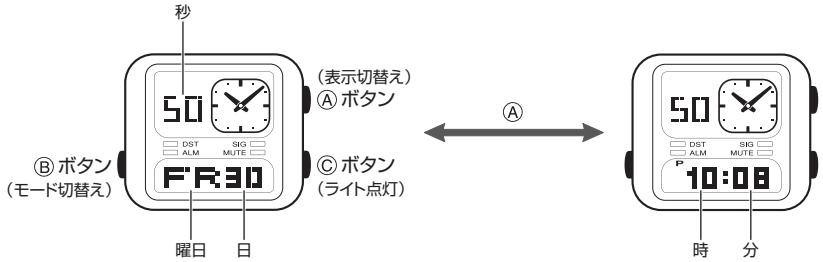
■ご注意■

●直射日光下では、ライト点灯が見えにくくなります。
●ライト点灯中に操作音やアラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
●時刻、アラーム、ハンドセットの各モードでは、Ⓒボタンを押し続けるとセット状態（表示が点滅）になりますので、ご注意ください。セット状態を解除したいときは、もう一度Ⓒボタンを押します。
●ワールドタイムモードでは、Ⓒボタンを押し続けるとサマータイムの設定が切り替わりますので、ご注意ください。
●デジタル部の時刻修正後に針も連動して修正されている（「シンクロ機能」参照）間は、Ⓒボタンを押してもライトは点灯しません。

操作のしくみと表示の見方

Ⓑボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。
※アラームモードやハンドセットモードのまま２～３分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。

時刻モード



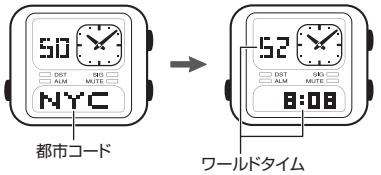
★表示切替えについて
Ⓐボタンを押すごとに、「曜日·日」と「時·分」が切り替わって表示されます。

★曜日の見方

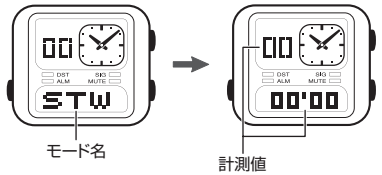
SU：日	MO：月	TU：火	WE：水	TH：木	FR：金	SA：土

＊時刻・カレンダーの修正については、「ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方」を参照。

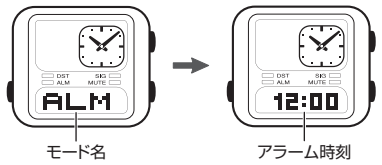
ワールドタイムモード



ストップウオッチモード



アラームモード



ハンドセットモード



ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓑ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界48都市（29タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市コードを表示後、都市の時刻を表示します。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※ホームタイム（基本時刻）を24時間制にしているときは、ワールドタイムも24時間制で表示されます。

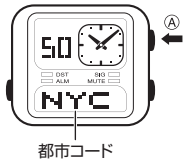
ご注意
ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。
* セットについては「セットのしかた」参照。

■都市のサーチ

1. 都市コードを表示させる
ワールドタイムモード（時刻表示）のとき

Ⓐ ボタンを押します

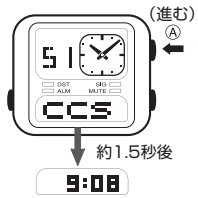
➡表示されていた時刻の都市コードを約 1.5 秒間表示します。



2. 都市をサーチする
都市コードが表示されているとき

もう一度 Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに都市コードが進みます。都市コードを表示後、その都市の時刻を表示します。
※ 押し続けると早送りします。



■サマータイム（DST）について

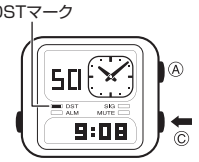
サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓐ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓒ ボタンを約３秒間押します

➡ⒸボタンをⒸ約3秒間押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。
※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。
※Ⓒ ボタンを押すとライトが点灯しますが、そのままサマータイムのON／OFFが切り替わるまでⒸ ボタンを押し続けてください。



※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、ホームタイムで設定している都市を表示しているときはサマータイムの設定はできません。

■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	−11.0	パゴパゴ	ROM	+1.0	ローマ
HNL	−10.0	ホノルル	BER	+1.0	ベルリン
ANC	−9.0	アンカレジ	STO	+1.0	ストックホルム
YVR	−8.0	バンクーバー	ATH	+2.0	アテネ
LAX	−8.0	ロサンゼルス	CAI	+2.0	カイロ
YEA	−7.0	エドモントン	JRS	+2.0	エルサレム
DEN	−7.0	デンバー	MOW	+3.0	モスクワ
MEX	−6.0	メキシコシティ	JED	+3.0	ジェッダ
YWG	−6.0	ウィニペグ	THR	+3.5	テヘラン
CHI	−6.0	シカゴ	DXB	+4.0	ドバイ
MIA	−5.0	マイアミ	KBL	+4.5	カブール
YTO	−5.0	トロント	KHI	+5.0	カラチ
NYC	−5.0	ニューヨーク	DEL	+5.5	デリー
CCS	−4.0	カラカス	DAC	+6.0	ダッカ
YHZ	−4.0	ハリファックス	RGN	+6.5	ヤンゴン
YYT	−3.5	セントジョンズ	BKK	+7.0	バンコク
RIO	−3.0	リオデジャネイロ	HKG	+8.0	香港
RAI	−1.0	プライア	SEL	+9.0	ソウル
LIS	+0.0	リスボン	TYO	+9.0	東京
LON	+0.0	ロンドン	ADL	+9.5	アデレード
BCN	+1.0	バルセロナ	GUM	+10.0	グアム
MAD	+1.0	マドリード	SYD	+10.0	シドニー
PAR	+1.0	パリ	NOU	+11.0	ヌーメア
MIL	+1.0	ミラノ	WLG	+12.0	ウェリントン

※この表は 2005 年 12 月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓑ ボタンを押して、アラームモードにします。

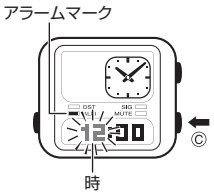
アラームモードでは、時分を設定でき、設定した時刻になると 10 秒間電子音が鳴ります。
また、毎正時（00 分）に時報を鳴らすこともできます。

■アラーム時刻のセット

1. セット状態にする
アラームモードのとき

Ⓒボタンを約3秒間押します

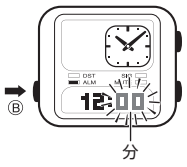
➡「時」が点滅します。
※ Ⓒ ボタンを押すとライトが点灯しますが、そのまま「時」が点滅するまでⒸボタンを押し続けてください。
※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。



2. セット箇所を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

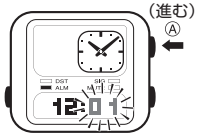
➡Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇔「分」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



3. 点滅箇所をセットする

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※ 押し続けると早送りします。



*2.～3.*の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます 。

※「時」のセットのとき午前／午後(P)、または24時間制にご注意ください。
※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。

4. セットを終わる

Ⓒ ボタンを押します

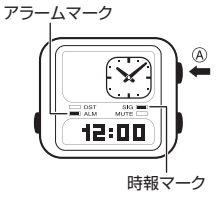
➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

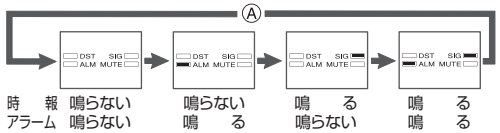
■アラーム・時報のON／OFF設定

アラームモードのとき

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐボタンを押すごとにアラームマークと時報マークが点灯／消灯を繰り返します。
※それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。





■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓐ ボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⒷボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

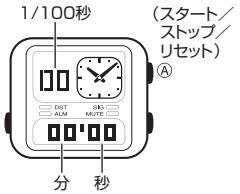
ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。



※計測中または計測終了後にⒶボタンを約1秒間押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

●通常計測

Ⓐ スタート → Ⓐ ストップ → Ⓐ（約1秒間）リセット

●積算計測

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒸボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

Ⓐ スタート → Ⓐ ストップ → Ⓐ 再スタート → Ⓐ ストップ → Ⓐ（約1秒間）リセット

ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域（都市）や時刻・カレンダー等を合わせることです。

※ホームタイムデータのセットや修正は時刻モードで行ないます。

デジタル部とアナログ部の時刻を同時に修正するときは、デジタル部の時刻を先に修正してください。

■セットのしかた

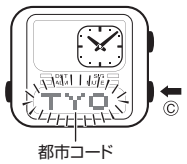
1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓒボタンを約3秒間押します

➡都市コードが点滅します。

※Ⓒボタンを押すとライトが点灯しますが、そのまま都市コードが点滅するまでⒸボタンを押し続けてください。



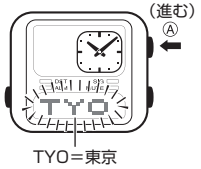
2. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐボタンを押すごとに都市コードが進みます。本機をお使いになる地域（都市）を選びます。

*「都市コード一覧」参照。

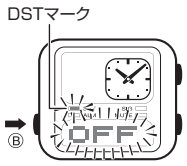
※押し続けると早送りします。



3. 「サマータイム設定」にする

Ⓑ ボタンを押します

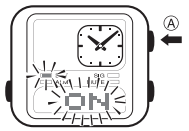
➡DSTマークと、ONまたはOFFが点滅します。



4. サマータイム設定を切り替える

Ⓐ ボタンを押します

➡サマータイムのON／OFFが切り替わります。



※OFF＝サマータイムOFF（通常時間）
ON＝サマータイムON（夏時間）

※サマータイムをONにすると、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。

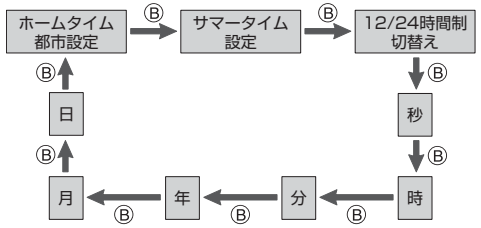
* サマータイム（DST）については「サマータイム（DST）について」参照。

5. セット箇所を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。





CASIO

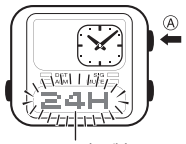
6. 点滅箇所をセットする

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンで点滅箇所をセットします。

a.「12/24 時間制切替え」のとき

Ⓐボタンを押すごとに12時間制表示“12H”と24時間制表示“24H”が切り替わります。

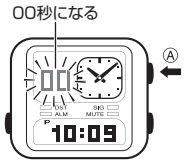


12/24時間制

b.「秒」セットのとき

Ⓐ ボタンを押すと「00秒」からスタートします。

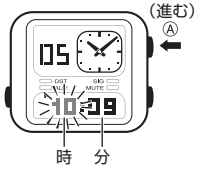
※秒が00 ～ 29 のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117 番」が便利です）。



c.「時」「分」「年」「月」「日」セットのとき

Ⓐボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※押し続けると早送りします。



Ⓑ ボタンを押して点滅箇所を移動させ、Ⓐ ボタンを押してセットする操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または24 時間制にご注意ください。

※「年」は2000年～2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

7. セットを終わる

Ⓒ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

<シンクロ機能>

デジタル部の時刻を修正すると、アナログ部（針）も連動して修正されます。

※針の修正は、デジタル部の修正に合わせて時計回り（正転方向）に送られます。

※針の修正は、デジタル部の修正時刻によって時間がかかることがあります。

※針の修正中は、以下の操作ができなくなります。

- ライトの点灯
- 時刻・ハンドセットモードのセット

■アナログ部（針）の修正

アナログ部の時刻とデジタル部の時刻が合っていないときは、ハンドセットモードで合わせてください。

準備：「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⒷ ボタンを押し、ハンドセットモードにします。

1. セット状態にする

ハンドセットモードのとき

Ⓒボタンを約3秒間押します



➡「時・分」が点滅します。

※ Ⓒ ボタンを押すとライトが点灯しますが、そのまま「時·分」が点滅するまでⒸボタンを押し続けてください。

2. アナログ部を合わせる

Ⓐ ボタンを押します



➡Ⓐ ボタンを押すごとに時計回りに1/3分（20秒）ずつ進みますので、デジタル部の「時·分」丁度にアナログ針を合わせます。

※ 押し続けると早送りします。

<針の自動早送り>

●Ⓐボタンを押し続けて早送り中にⒷボタンを押すと、ボタンを離しても針が進み続けます。

●自動早送りは時針が一周するか、いずれかのボタンを押すと止まります。

●針の早送り中にアラームなどが鳴り出すと針が停止します。報音終了後、再び動き出します。

3. セットを終わる

Ⓒ ボタンを押します

➡点滅が止まり、分針はそのときの「秒」に合わせて自動的に修正されます。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。